

浜田港運

◆1◆ 「創業」

島根県唯一の国際貿易港で重点港湾にも選定されている浜田港で港湾荷役など海の流通を手掛ける浜田市長浜町の浜田港運(株)。昭和2年に創業し、回船業者として港の発展に関わって以来、木材、石炭などの輸入、コンテナ航路による輸出入、さらに海上運送、船舶代理店、通関など港湾に関する業務全般を行っている。近年は国際RORO船の荷役業務なども行い、商港になくてはならない事業者として地方経済の発展に貢献している。トラック輸送から、船や鉄道を使った輸送への転換が予測されるだけに、時代の流れを読みながら港と一心同体となって社業を伸展させている。



本社前に立つ社長の山本洋治＝浜田市市長浜町、浜田港

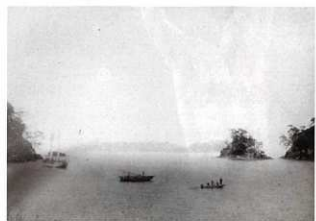
海運業、回送業が主要業務 商港の整備と共に社業伸展

めた。29年には開港外貿易港に指定され、32年に外国船に開放された開港場となり、大正5年には米国に向けて魚類缶詰を初輸出するなど日本海を行き交う定期船や大陸貿易の寄港地として栄えてきた。

長浜合同運送店が源流

浜田港運は、昭和2年に設立された長浜合同運送店が源流とされ、木炭移出問屋なども手掛けた。

昭和15年、浜田の市制施行に伴い、それまでの境港依存から、県内に商港を設けようという機運が盛り上がった。調査の結果、長浜地区に港を設け、周布地区に工場を誘致する基本方針が策定された。市の積極的な働きかけもあり、今から75年前の太平洋戦



昭和初期の長浜港

争開戦直前の昭和16年11月、浜田海運(株)が誕生した。株主は市内の回船問屋、海上運送業者ら44人、資本金は18万円。初代社長には浜田銀行頭取で大阪商船の代理店として運送問屋などを営んでいた小林藤一郎が、専務には第2代社長となる宮下又一が就任し、主に海運業、回送業を営んだ。

小林は、浜田電気、浜田製水なども設立。浜田信用金庫(現日本海信用金庫)理事長、浜田商工会議所会頭などを歴任した。昭和17年には浜田商港修築5カ年計画が決まり、長浜に修築事務所が設立され、工事が始まった。19年には本船岸壁工事が完成し、佐世保海軍鎮守府に陳情していた浜田港への軍用材の集積場も設置された。また、満州(現中国)へ物資輸送していた広島市の宇品港が爆破されて機能を失ったため、代替港として大陸に近い浜田港も選ばれた。

海軍本港の使用開始となった。浜田港での荷役業務も急増。浜田海運がこの荷役を一手に引き受けていたことから、300人ほどの従業員がいて活気にあふれていた。満

交易、漁業の港として古くから発展した浜田港。戦国時代には暴風に遭遇した朝鮮官選船の乗組員を保護したことが縁で朝鮮貿易港として発展し、江戸時代には浜田藩内の回船問屋が当時は禁止されていた海外と密貿易し、巨大な



2代社長の宮下又一 初代社長の小林藤一郎



韓国向けの竹材の積み込み作業

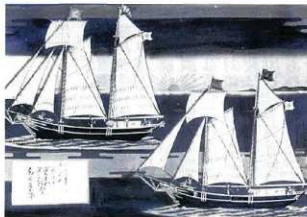
州からもジャンクと呼ばれる1千トンの貨客船が連日のように入港してにぎわった。終戦直前の20年5月、現社名の浜田港運(株)に変更し、以降は港運一本に絞って社業を推進した。

経営厳しく合理化も

戦後の21年には、中国向け杭材木の輸出が始まったほか、外国船への荷揚げ、荷降ろし業務も始まった。しかし、23年以降は中国向けが少なくなり、韓国との貿易も小型船舶で竹材の輸出が続けられただけで、外国貿易船舶の出入りも減っていった。

同時に、同時期に紡績工場が燃料用石炭、パルプ材などが船から列車輸送に切り替えられ、厳しい経営状況にさら

富を得て藩に献上金を納め、財政立て直しに貢献した。幕末から明治以降は西洋式の大船が寄港する一大商港として問屋が軒を連ねた。明治10年に三菱汽船が日本海航路の寄港を開始し、17年には大阪商船が山陰航路の寄港を始



大正時代の帆船の絵画



昭和30年ごろの長浜地区

された。昭和24年10月には、第2代社長に宮下又一が就任。立て直しを試みたが状況は改善せず、創業以来のピンチを乗り切るため、断腸の思いで従業員への解雇など合理化を進めざるを得なかった。

25年には、長浜に鮮魚荷揚げ場が新設され、26年には愛媛や宮崎の巾着網漁業者が日本海で操業して長浜へ水揚げするようになって港に活気が戻った。だが、浜田港運にとっては依然として厳しい状況が続いた。そうしたなか、船止まり埠頭の完成など商港としての整備が進むにつれ、貿易船舶の出入りが少しずつ増え、明るい兆しが見えてきた。

(敬称略)
―次号に続く―
(補正正之)

浜田港運(株) / 浜田市	
設立	1927(昭和2)年
創業	1941(昭和16)年
資本金	3千万円
代表者	山本 洋治
役員	宮下義重、荒木重幸、田村興行、長峯圭二、山根眞澄、須賀孝、又賀航一、堀尾忠彦、中島晴裕、田中誠二、杉本雄介
従業員数	44人
売上高	5億2千万円
所在地	浜田市市長浜町1785-7
電話番号	0856(27)0072